

西条・園児死亡 両親、教員ら9人告訴

2012年7月、西条市中奥の「石鎚ふれあいの里」近くの加茂川で、西条聖マリア幼稚園(同市大町)の「お泊まり保育」中、増水した川に流され死亡した吉川慎之介ちゃん(当時5)の両親が15日、園を運営する学校法人ロザリオ学園の理事長と引率教員8人の計9人を業務上過失致死の疑いで西条署に告訴し、受理された。

松山市で会見した遺族代理人の畑中鉄丸弁護士(東京)は「水深が子どもの身長半分近くで、とがった岩があちこちにあるなど危険な場所。増水の有無にかかわらず遊ばせる場所だったか疑問」と

指摘。「天候確認や浮輪などの救命用具も準備せず、迅速で効果的な救助もなかった。園は園児の安全を守るための義務を怠り、責任を逃れようとしている」と告訴理由を説明した。

畑中弁護士による

と、両親は、園児の安全のための予算計上と委員会設置▽現場での追悼式実施▽両親が設立予定の児童の安全な育成を目的とするNPO法人への寄付▽責任者との面談を求め、園側と交渉してきた。十分な回答が得られな



刑事告訴の理由などを説明する畑中鉄丸弁護士—15日午後2時40分ごろ、松山市

い場合、損害賠償などを求める民事訴訟を4月にも起こすという。

両親は「単なる増水事故でなく、危機管理体制の欠如や子どもの命を預かる教育者として持つべき意識を欠いて起きた『事件』と確信している。園の反省が感じられない今、法の下で厳しく処罰され、一日でも早い事件解明が行われることを希望する」と文書でコメントした。